

# 授業科目 言語聴覚障害総合演習

【担当教員名】  吉岡 豊 他		対象学年	3	対象学科	言語
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	○	◎	
【概要・一般目標：G10】 総合実習に備えて、コミュニケーションスキルおよび臨床知識を身につける。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コミュニケーションに熟練する。</li> <li>2. 聴覚機能検査を行う。</li> <li>3. 器質性、機能的構音障害を同定する。</li> <li>4. 高次脳機能障害者を説明する。</li> <li>5. 発声発語・嚥下障害を記述する。</li> <li>6. 失語症を説明する。</li> <li>7. 臨床上のリスクを同定する。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	コミュニケーションスキルの向上1			1	
2	コミュニケーションスキルの向上2			1	
3	コミュニケーションスキルの向上3			1	
4	聴覚機能評価について			2	
5	器質性、機能的構音障害について			3	
6	高次脳機能障害について1			4	
7	高次脳機能障害について2			4	
8	発声発語・嚥下障害について1			5	
9	発声発語・嚥下障害者について2			5	
10	発声発語・嚥下障害者について3			5	
11	失語症について1			6	
12	失語症について2			6	
13	失語症について3			6	
14	リスク管理			7	
15	まとめ			1～7	
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	他専門科目で指定されているテキストを使用する。				
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 演習なので4/5以上の出席を前提とする。			【履修上の留意点】		